

Mirror Ball Wax

安全性についての見解

～表題～

- 人体に対する安全性など
- どう安全であるか？について
- SDS 情報まとめ

●人体に対する安全性など

- ・物理的特性に関して

通常使用条件下では特に問題ありませんが、引火点が 90～98℃ですので、裸火など点火源との接触は避けてください。

- ・健康有害性について

特に問題なし。

※GHS 分類の詳細は「政府向け GHS 分類ガイダンス（令和元年度改訂版（Ver.2.1）P186～192）をご参照ください。

リンク：[ghs_classification_guidance_for_government_2021.pdf \(meti.go.jp\)](https://www.mhl.go.jp/safety/ghs/ghs_classification_guidance_for_government_2021.pdf)

●どう安全であるか？について

新たに分析依頼されました SDS を確認しましたところ、物理化学的危険性、健康有害性、環境有害性いずれにおいても危険性・有害性は確認できず、安全性は問題ないと推察されます。

以上、ご報告申し上げます。

●SDS 情報まとめ

1.物理的・化学的危険性

特になし（引火点：90～98℃）

2.健康有害性

特になし

3.環境有害性

特になし

4.症状の詳細（『4.2Most important symptoms and effects-acute and chronic』より）

眼刺激：一時的な眼の炎症

皮膚刺激：乾燥、ひび割れ、軽度の刺激

吸入刺激：気道の炎症

摂取（経口）：胃痛、吐き気、嘔吐

5.使用上の注意（使用条件など『SECTION 8』より）

- ・狭い場所や換気不十分な場所で使用しないでください。
- ・十分な換気、局所換気をすることでばく露を防いでください。
- ・換気不十分の場合は保護具を着用してください。

⇒ミスト、蒸気、スプレーなどでの吸引は避けること。

- ・眼と接触しないようにしてください。（保護具着用）
- ・皮膚と接触しないようにしてください。（保護具着用）
- ・通常の使用条件下では、安定。

火花、裸火、強酸化剤との接触を避けて下さい。

燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素を発生します。（SECTION.10 より）

- ・摂取（ばく露）を防ぐため、飲食、喫煙は避けてください。

また、使用後は石鹼と水で完全に洗い流してください。

7.健康有害性情報（詳細）

・急性毒性は経口、経皮、吸入（期待、蒸気、粉じん・ミスト）ともに区分外の急性毒性値です。

- ・他の項目については、データなしのため「分類できない」状態です。